

# ～ウィズ便り～

## 令和5年2月

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。この時期は特に部屋が乾燥しやすくなります。冷えと乾燥は関係ないように見えますが、実は密接な関連があるのをご存知ですか？乾燥した状態が続くと、体内から蒸発していく水分が増え、エアコンで室内温度を上げてても体感温度が低下していくようです。

おうち時間を快適に過ごすためにも、室内の湿度を適度に保ち、空気が乾燥しないように過ごしていきたいですね。



介護の現場から・・・ シリーズ～介護すること、されること～

### (28) コギー（足漕ぎ車いす）をテレビでみて

81歳のAさんは、元々脳原生運動機能障害があり、長年の閉じこもりや同じ姿勢でずっと座っている事で、筋力低下や両足の拘縮が進んできておられ、また、左手は麻痺があり、右手は少しであれば動かすことができる状態でした。床から立ち上がることが困難なため、自宅内は這って何とか移動されていますが、立ち上がる際には介助が必要であり、日常生活の動作が徐々に困難になっておられました。

また奥様にも障がいがあり、屋内は車いす、外出時は電動いすで生活をされていますが、家事全般は奥様が担っておられ、Aさんの立ち上がりの補助などもされており、介護の負担が大きくなっている状況でした。

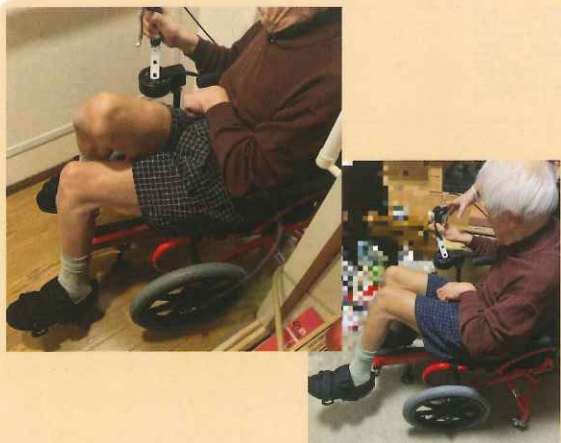
そんな時に、歩行が難しい方でもどちらかの足が少しでも動かすことができればペダルを漕いで移動できる可能性があるという、足こぎ車椅子『コギー』（※）をテレビでご覧になられました。「これなら自分で車椅子移動できるのでは？」「介護保険レンタルできるならリハビリの際に試したい！」と担当ケアマネジャー様にご相談されたことが、福祉用具を通しての支援の始まりでした。



1回目のデモはリハビリの時間に合わせて行いましたが、Aさんの足が内股に硬直している事もあり、一人では乗り降り出来ず、ペダルを漕いでも1mも進まないうちに左足がペダルから抜けてしまうなど、上手くいきませんでした。以前にも別の利用者様で3ケース、コギーのデモを行ったことがありましたが、車椅子への乗り降り、足漕ぎペダルのセッティング等、ご利用者一人での準備が難しく、結局導入には至らなかった事もあり、『コギー』は良い商品なのですが、なかなか実用が難しい商品なのかな、、、とあっておりました。しかし、Aさんとお話する中で、「妻には障害がある中、家事や私の介護で大変な思いをさせているので、何とか負担を軽減させたい」「簡単にあきらめたくはない」という強い思いをお聞きしました。

Aさんの想いに応えるため、乗り降りのセッティングはリハビリの先生にご協力を頂き、練習を重ねることになりました。足関節の拘縮があり、足漕ぎペダルの奥まで踵をしっかりと入れ込む事が出来ず、抜けてしまうことは、靴下を履いて、足とペダルの大きさに合うリハビリシューズをご用意することでクリアできました。

最初は1、2分でバテておられましたが、練習を重ねることで、最近は自宅内の廊下を5～6往復は出来るようになっておられます。次のステップとしては、マンションの廊下でリハビリが出来るようになること。最終目標はコギーで外を散歩出来るようになりたいと考えておられます。



導入してまだ間もない為、奥様の介護負担に関しては、まだ大きな変化はありませんが、長期的な目標として、ご自身でできることが増えて、奥様の負担軽減に繋がるようにと、前向きな気持ちで日々練習に励まれています。

福祉用具をうまく活用していく為には、ご本人の熱意やチャレンジと各専門スタッフの工夫が必要で、それにより結果が大きく変わってくるということを改めて痛感しました。生活の状況やお身体の状態に合わせて今後もケアマネジャー様やリハビリの先生と連携し、ご本人とご家族の望む生活が送れるように、一緒に考えさせていただきたいと思えます。

最近「ユニバーサルデザイン（UD）」という言葉を目にする機会ありませんか？

ユニバーサルデザインは「年齢や能力、状況などにかかわらず、デザインの最初から、できるだけ多くの人利用可能にすること」が基本的な考え方です。

「バリアフリー」という言葉と混同されがちですが、バリアフリーは、高齢者や障がい者が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを除去する、という意味があります。住宅建築用語として登場した言葉ですが、物理的な障壁だけでなく、社会的、制度的、心理的など広い意味での障壁に対して用いられています。

バリアフリーは、「障がいがあることを前提に、その障壁を後から取り除く」という考え方であり、「初めからすべての人が利用しやすいようにデザインする」ユニバーサルデザインとは異なる意味を持ちます。

ユニバーサルデザインには7つの原則があります。

- ①「公平性」これは、どんな人でも公平に使えることで、例えばエレベーターや自動ドアなどです。
- ②「自由度」これは、使う人の能力や好みに合わせて、使い方を選ぶことができることです。例えば高さの異なる手すりなどです。
- ③「単純性」例えば、シャンプーとリンスのボトルには、凹凸があるのをご存知でしょうか？これは、視覚障害のある方が触っただけでどちらなのかが直感で分かるような工夫です。
- ④「すぐに分かる」「明確性」
- ⑤「安全性」
- ⑥「身体への負担の少なさ」
- ⑦「広さ空間が確保されていること、などが7つの原則になります。

このようなユニバーサルデザインの考え方の中で、日本では「グッドデザイン賞」があります。

「グッドデザイン賞」は、1957年に旧通商産業省によって設立された「グッドデザイン商品選定制度」（通称Gマーク制度）を継承する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。

今回は、2019年度に受賞した商品の中から「シチズン振動体温計CTEB720VA」をご紹介します。

検温終了後、音だけでなく振動でもお知らせ。音が聞き取りづらかった方々も快適に使用できます。加齢による難聴や、音階が狭くなった方、聴覚障がいの方、また騒音環境下など、人々やシーンに寄り添い、検温をサポートします。

**難聴の方にもおすすめ！**  
**音と振動で検温終了をお知らせできる体温計**



**シチズン 振動式体温計**  
**CTEB720VA 予測・実測式**



¥6,600- (税込)

- ・防水・抗菌仕様
- ・水洗いできる防水仕様
- ・収納ケース付き

**選べるお知らせモード**



検温終了時に音だけでなく、“振動”でお知らせ。検温のお知らせを、「振動」モード、「ブザー」モード、「振動+ブザー」モードの3種類から選べます。

**専用アタッチメント「びタッチメント」対応（付属）**



付属の「びタッチメント」を付けると、痩せ気味の方や筋力の低下により、わきに体温計を挟むことが困難だった方々も安定した検温が可能。

**大きく見やすい液晶・バックライト機能**



暗いところでの測定でも結果が見やすいバックライト機能を搭載しました。

お問い合わせ先



お気軽にお問い合わせ下さい。



LINE公式アカウント



株式会社 ウィズ

こちらのWEBサイト  
をご覧ください。⇒



オンラインショップ



本社・吹田	〒564-0042	大阪府吹田市穂波町19-25	☎06-6310-6262
大阪西営業所	〒550-0014	大阪市西区北堀江4-17-13	☎06-6536-9970
旭区ショールーム	〒535-0013	大阪市旭区森小路2-2-13	☎06-6955-6400
東大阪センター	〒577-0012	東大阪市長田東3-2-2	☎06-6748-8688
東住吉営業所	〒546-0013	東住吉区湯里2-18-11-101	☎06-6707-0788
東京営業所	〒101-0032	東京都千代田区岩本町3-5-2-702	☎03-5821-8572
横浜営業所	〒232-0056	横浜市内南区通町2-33-2-102	☎045-730-6255
京急上大岡店	〒233-8556	横浜市民港南区上大岡西1-6-1-7階	☎045-848-7297